



伴侶の死を乗り越える集い

# 虹の架け橋

大切な伴侶を亡くされたあなたへ

2015年  
2月 季刊誌 挨拶

代表 高橋 勉

立春とは名ばかりの厳しい寒さが続いております。皆様いかがお過ごしでしょうか？

2015年も引き続き会員の皆さんとともに歩み、新規の方に寄り添って活動を行ってまいります。さて第二回プログラムで「諸行無常」という話ができましたので書かせていただきます。

私自身「幸せ」とは平凡な日常の継続であると感じ付いたのは家内を喪つてからの事でした。

こんなにも早い別れ(家内 46歳)がくるとは思いもせませんでした。が、その時に脳裏に浮かんだのがこの「諸行無常」という言葉でした。その「諸行無常」とは(以下辞書抜粋) 仏教の思想にある根本的なもので、あらゆるものは刹那(きわめて短い時間または一瞬)の間にも変化をくり返しているという事。人生のはかなさを表す言葉であり一般的には、世の中の移り変わりの激しさや人の死を嘆くときに使われる言葉であります。

宋代の仏教書『景德伝灯録』では、釈迦牟尼仏が入滅するときに、沙羅双樹の木の下で説いたことばとされている。平家物語では「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり、沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらわす」

(祇園精舎の鐘の聲は、世の中に不変はないと言っているように聞こえる、羅双樹の花の色は盛んな者は必ず衰えることを表している) 思ひ上がった者は長く続かない「盛者必衰」にも使われているが私たちが伴侶を亡くした者に対しては「すべてのものは変化している」と捉えることにしたい。

最後に「虹の架け橋」に参加して築かれた「縁」は伴侶とめぐり合ったその「縁」と同様に必然であったと思いたい。それを大切にしていきたいこと、またこれから私自身も様々な人生のお手伝いが出来れば本望である。思いあがらずに一日を大切に一年過ごして行こうと思えます。

## ～イベントメール登録についてのご案内～

「虹の架け橋」設立後、「紅葉狩り」「お花見」などのイベントを開催致しましたが、会報によるご案内ですと原稿に間に合わせるためにはかなり前に計画しないと出来ない為、リアルタイムでのご案内が出来ませんでした。

そこでもっと気軽に回数も多く開催できますように、今後は担当者よりメールにてイベントのご案内をお送りしてメールでお申込み頂く事と致しました。

今後イベントのご案内をメールで送ってもらいたい方は、「イベントメールへの登録」をお願い致します。

(登録料は必要ありません。)

登録方法は、パソコンあるいは携帯から、お名前と「イベントメール登録希望」と書いて、

**(アドレスは、会員の方のみご案内)**までメールを送って下さい。なお、携帯の方はこのアドレスからのメールを受信できるように設定を行って下さい。

ご登録いただいた方には、イベントの計画がまとまり次第、【**イベントのご案内のメール**】をお送り致します。

登録の締め切りはありませんので、随時受け付けております。

また、一旦、登録した方でも、いつでも登録の取り消しは出来ますのでご連絡ください。

ご不明な点は、上記アドレスまでお問い合わせ下さい。

## 今後のイベントについて

**5月30日 水郷佐原に「あやめしょうぶ」を訪ねて**

詳細につきましては決まり次第、ホームページ&イベントメールにてご案内致します。

東洋一を誇る「水性植物園」の400品種 150万本の花菖蒲を鑑賞！その後は江戸情緒あふれる町並みを船に乗ったり、のんびり歩いて散策します。お食事もお楽しみに！！自然に親しみながら、江戸時代にタイムスリップした街でいつもと違う時間を、過ごしませんか？